

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年1月9日

協議会名: 茂原市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
事業者:小湊鐵道株式会社 運行系統:南部(鶴枝)・南部(五郷)	南部(鶴枝):茂原駅～三ヶ谷神社～茂原駅 南部(五郷):茂原駅～石神集会所～茂原駅	<ul style="list-style-type: none"> ・電車との乗継利便性の向上等の理由により、時刻表改正を行った。 ・新たに「茂原市交通マップ」を作成し、市内の各公共施設や鉄道駅等に配布した。また、広報や自治会への回覧等を実施し周知を図った。 ・市民バス及びデマンド交通共通の回数乗車券を導入し、公共交通の利用促進に努めた。 ・(株)ナビタイムジャパンと市民バスに係るデータ利用に関する契約を締結し、当該事業者が提供している検索システム等により、市民バスが検索可能となった。 ・福祉部局と連携し、市内のケアマネージャー等を対象とした公共交通に関する説明会を実施した。 ・運賃収入以外の収入源の確保のため、市民バスの車体に有料広告の掲載を行った。 	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 前年度よりも北部(豊岡)コースは1,901人(22.2%減)、東部コースが7,220人(3.5%増)、南部(鶴枝)・南部(五郷)コースは11,649人(1.9%減)となっている。全体では、534人の減、前年度比で2.5%の減となっている。茂原駅近くの商業施設が閉店したことが、利用者が減少した一因と推測される。	<ul style="list-style-type: none"> ・運賃収入以外の収入源の確保のため、引き続き市民バスの車体等に、有料広告を募集し掲載を行う。 ・広報・自治会への回覧等を通じ、さらなる周知を図ると共に、必要に応じて地元説明会等を実施する。 ・市民バス及びデマンド交通共通の回数乗車券の周知に努め、公共交通の利用促進を図る。
事業者:都自動車株式会社 運行系統:北西エリア	茂原市北西エリア	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに「茂原市交通マップ」を作成し、市内の各公共施設や鉄道駅等に配布した。また、広報や自治会への回覧等を実施し周知を図った。 ・市民バス及びデマンド交通共通の回数乗車券を導入し、公共交通の利用促進に努めた。 ・福祉部局と連携し、市内のケアマネージャー等を対象とした公共交通に関する説明会を実施した。 	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B <ul style="list-style-type: none"> ・利用登録者数は、以前の目標(500人)を達成できたため、見直しにより新たに目標値を750人に設定した。前年度から33人増加している。利用者数は、目標値の10人/日以上を達成できた。前年度と比較すると221人の増、前年度比では14.3%の増となっている。 ・運賃収入の半分以上が回数乗車券であることから、回数乗車券の導入により利用促進効果があったと推測される。また、利用者のほとんどが60歳以上であることから、交通弱者の移動手段が確保され、外出機会の増加に大きく寄与している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用需要の高い高齢者を中心とした利用促進策を講じて、利用者の拡大に努める。 ・広報・自治会への回覧等を通じ、さらなる周知を図ると共に、必要に応じて地元説明会等を実施する。 ・市民バス及びデマンド交通共通の回数乗車券の周知に努め、公共交通の利用促進を図る。